

2016年5月13日開催  
2016年3月期決算説明会での主な質疑応答

**Q1 ジャパンフリトレーについて具体的にどのように立て直すのか。また、業績へのインパクトについて教えてほしい。**

2016年3月期は、スナック事業の売上が伸びず、営業利益は対計画・対前期ともに大きく下回る結果となりました。2017年3月期の営業利益は前期比3億円増を計画しており、具体的には、プレミアム系ポップコーンのプライベート受託件数の増加、ギャレット ポップコーン ショップス®の不採算店舗の見直し等により、収益の改善を図ります。

**Q2 北米の販売モメンタムが回復するのはいつ頃か。**

ミシシッピ州新工場の立ち上げの遅れ、カリフォルニア州既存工場の生産メンテナンスにより、供給不足が長期化したことで、既存取引先の信頼を失ってしまいました。新規アカウントの取引も始まっていますが、回復までに約半年を要すると考えています。

**Q3 2017年3月期の増益の国内・海外の内訳について教えてほしい。**

大半は国内事業での増益を見込んでいます。海外は、今年新規参入予定のインドネシア、スペインが赤字を計画しています。一方で、昨年スタートしたフィリピン、英国の赤字幅縮小や、また北米・韓国等の既存参入国の増益でカバーし、前期並みを計画しています。

**Q4 現在の円高傾向が続いた場合の原価への影響を教えてほしい。**

輸入原材料については、調達量確保を最優先とし、2017年3月期の計画についてはほぼ調達手配が終了しているため、影響はほとんどありません。ただし、動力費は短期調達のため、増益に影響する可能性があります。

**Q5 今期の食品業界のデフレリスクについて、どのように見ているか考えを聞かせてほしい。**

国内においては、デフレが止まっていると見ています。一方で、食品および菓子メーカーにとって、人口減少、少子化による市場縮小が長期的なリスクと捉えています。世界的には人口が増加しており、海外で戦える競争力を持つことが中長期で最大の課題であると考えます。

以上